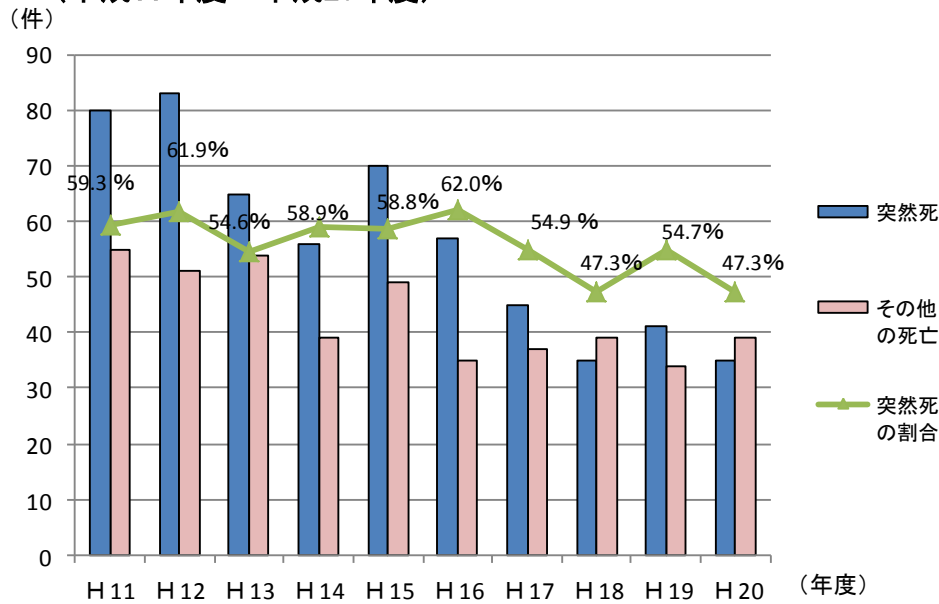


II 学校の管理下における突然死の現状

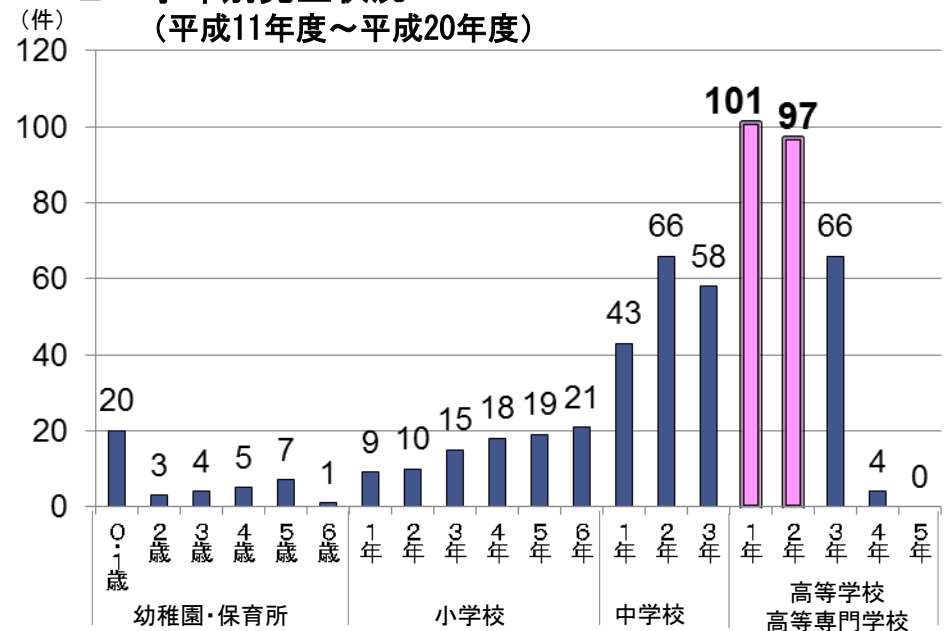
1 学校の管理下における死亡の件数 (平成11年度～平成20年度)



平成11年から平成20年までの10年間の突然死の発生状況は、年間35～83件で推移しており、死亡全体のおよそ**57%**を占めている。

年度	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
突然死	80	83	65	56	70	57	45	35	41	35
その他	55	51	54	39	49	35	37	39	34	39
比率%	59.3	61.9	54.6	58.9	58.8	62.0	54.9	47.3	54.7	47.3

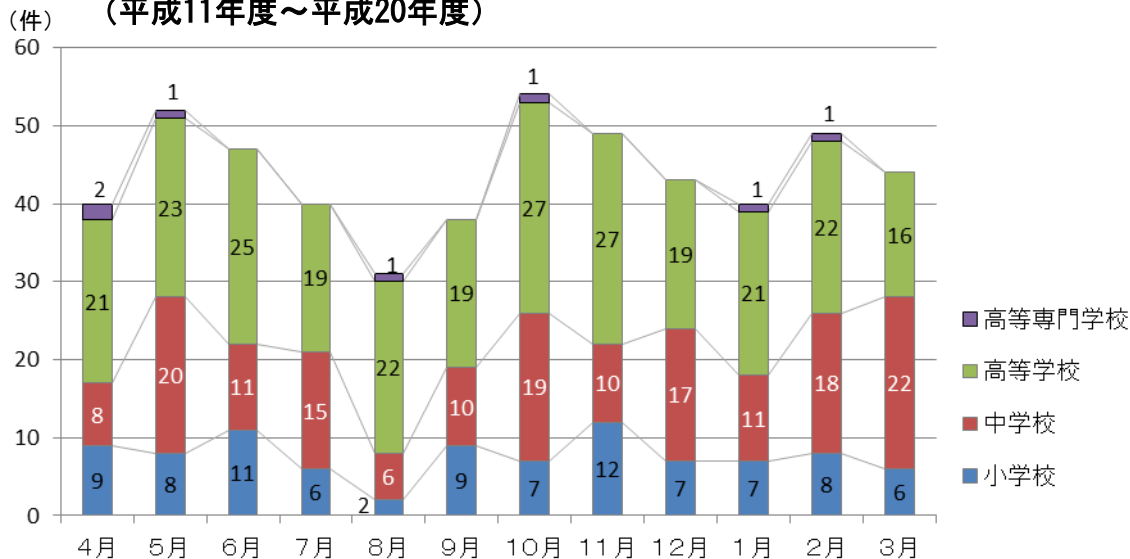
2 学年別発生状況 (平成11年度～平成20年度)



学年別発生状況では、**高校1年～2年時**に多く発生している。

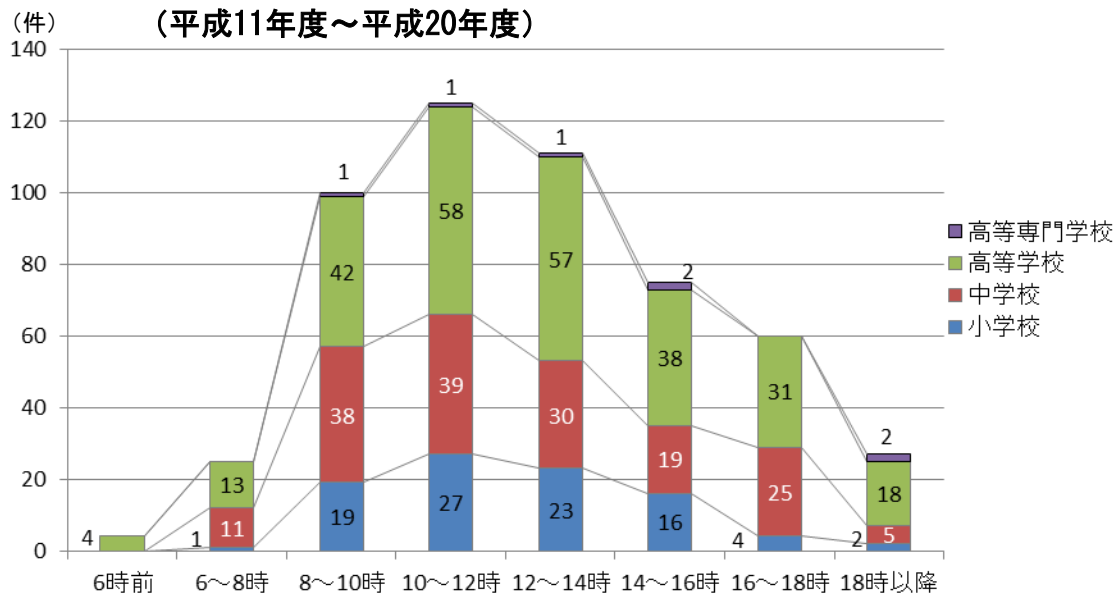
Ⅱ 学校の管理下における突然死の現状

3 突然死発生月別状況 (平成11年度～平成20年度)



月別発生状況では、小学校は11月、中学校は3月、高等学校では10月、11月に多く発生している。

4 突然死発生時間帯別状況 (平成11年度～平成20年度)

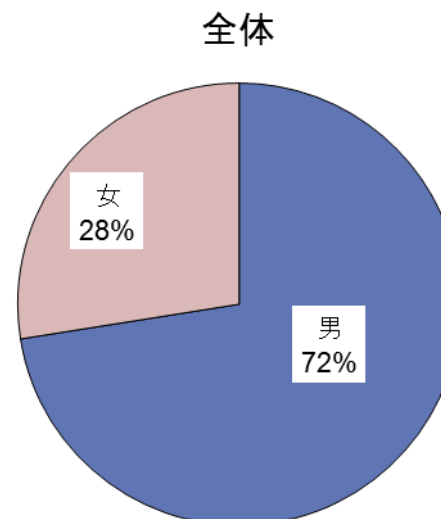
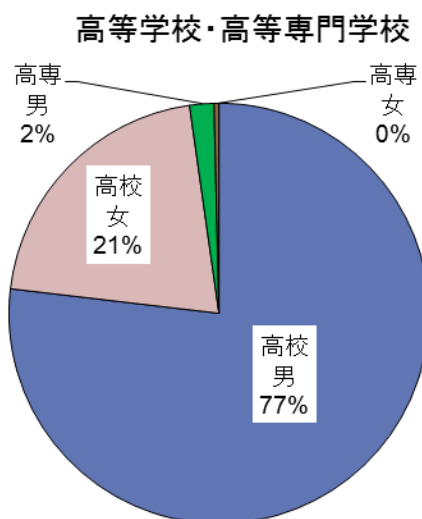
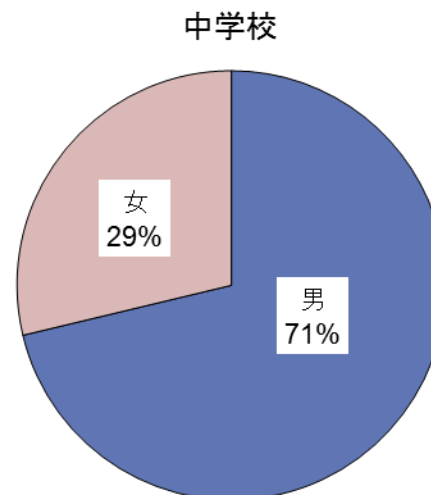
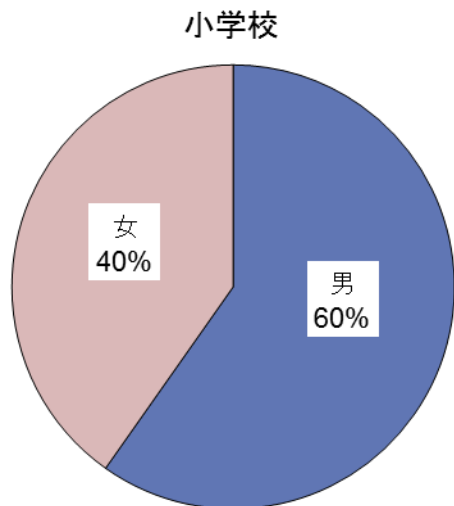


時間帯別発生状況では、小学校、中学校、高等学校では10時～12時の間に最も多く発生している。

Ⅱ 学校の管理下における突然死の現状

5 男女別発生状況（平成11年度～平成20年度）

突然死を男女別に分けると、年齢が上がるにつれて、男子の割合が増え、高等学校・高等専門学校では **79%** となっている。

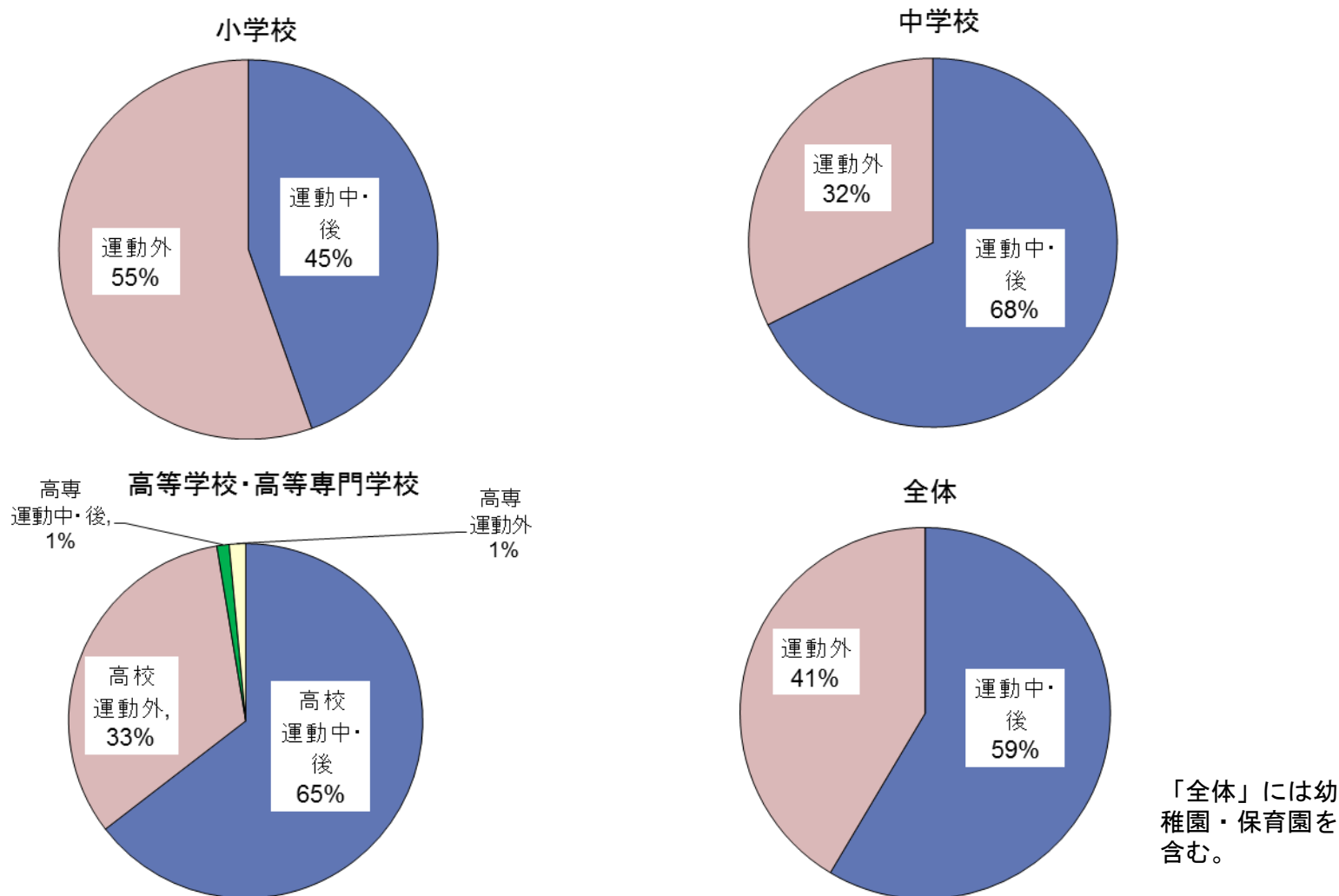


「全体」には幼稚園・保育園を含む。

II 学校の管理下における突然死の現状

6 状態別発生状況（平成11年度～平成20年度）

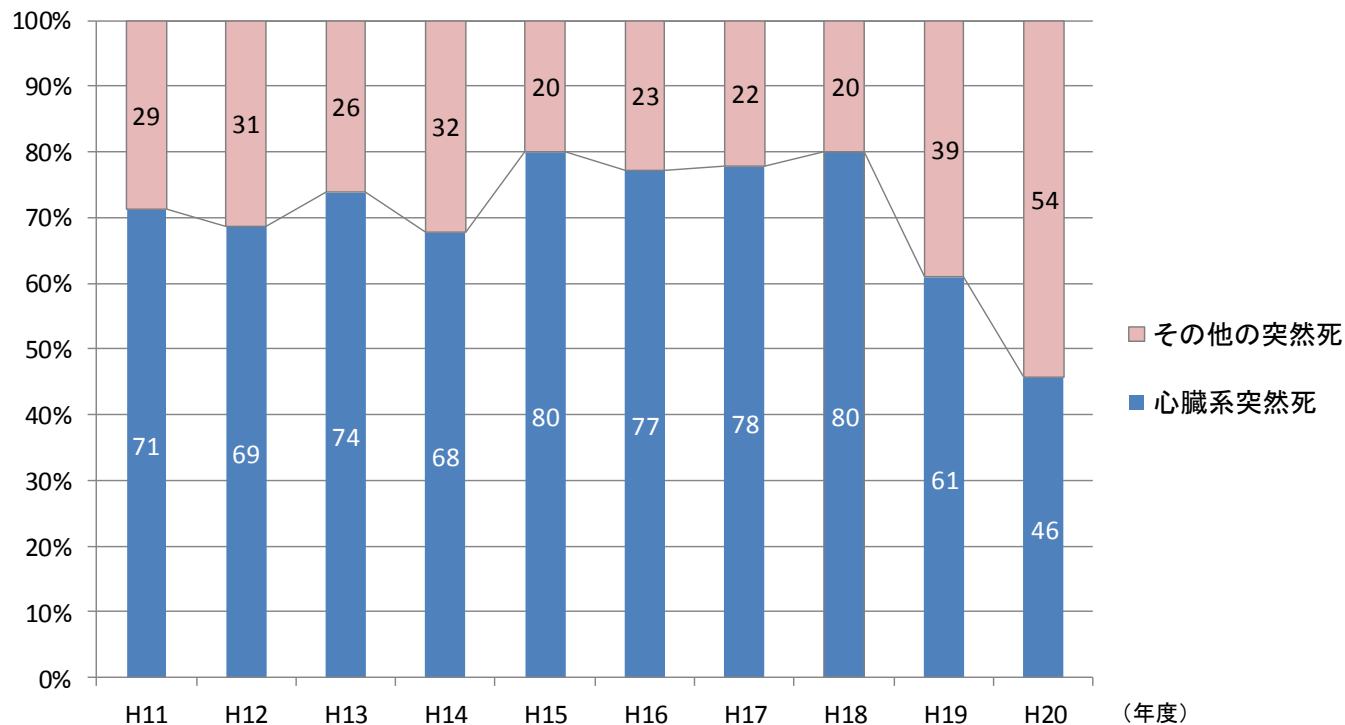
発生の状態を「運動中・運動後」と「運動外」に分けてみると、「運動中・運動後」の突然死は、小学校では約 **45%**、中学校では **68%**、高等学校・高等専門学校では **66%** と、中学校及び高等学校・高等専門学校で発生割合が高くなっている。



Ⅱ 学校の管理下における突然死の現状

7 心臓系突然死の件数及び突然死に占める割合（平成11年度～平成20年度）

平成11年度から平成20年度までの10年間の突然死のおよそ **71%** が心臓系疾患で占められている。



(件)

年度	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
心臓系突然死	57	57	48	38	56	44	35	28	25	16
その他の突然死	23	26	17	18	14	13	10	7	16	19
計	80	83	65	56	70	57	45	35	41	35